

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

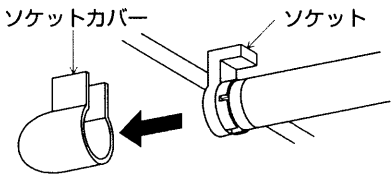
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 ソケットカバーを取外す

左右のソケットカバーをソケットより取外す。

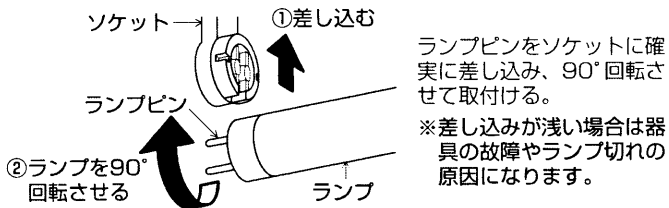


3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプをソケットに差し込み、90°回転させて取付ける。

ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。
落下によるけがの原因になります。

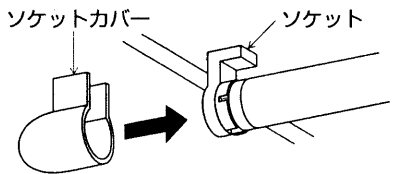


ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 ソケットカバーを取付ける

ソケットカバーをソケットに合わせて取付ける。



6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

< 保証について >

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。
但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。
3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)

お買上年月日

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

本体：1年間 安定器：3年間

お客様
お名前
ご住所
電話 ()

コイズミ照明株式会社

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 BHG330086

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実にに行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 禁止	下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。ただし、吊下げでの使用時のみサオブチ天井と格子天井とケースウェイはめ込み配線器具に取付けできます。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
！ 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。 ●直付けの場合 傾斜天井 壁面 不安定な場所 補強のない場所 ●吊下げの場合 傾斜天井 壁面 補強のない場所		ケースウェイはめ込み配線器具 ●配線器具の出しろが少ないもの シーリングボディ 20mm未満 埋込ローゼット 10mm未満 フル引掛シーリング 20mm未満 フル引掛ローゼット 8mm未満 ●破損している ヒビ割れ 欠けている ●電源端子露出形 グラツキやガタツキ 電源端子
！ 厳守	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。 埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを ご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

<div> <div> </div> <div> 注 意 </div> </div> <div> この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。 </div>		
<div> </div> <div> 接触禁止 </div>	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	<div> </div> <div> 禁止 </div> <div> 器具の下にストーブなどの 高温のものを置かない でください。また、燃え やすいものを近づけて使 用しないでください。 →火災の原因になります。 </div>
<div> </div> <div> 水ぬれ禁止 </div>	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	
<div> </div> <div> 禁止 </div>	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	<div> </div> <div> 厳守 </div> <div> この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別 があります。必ず取付ける地域の周波数と器具 の周波数があっているか確認してください。 →間違っていると火災の原因になります。 </div>
	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ	使用点灯管
BHG330086	AC100V	50または 60Hz	88W	FL20SS／18 × 4	FG-1E × 4

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている
配線器具が確実に固定されているか
確認する。



シーリングボディ



フル引掛
シーリング



埋込ローゼット

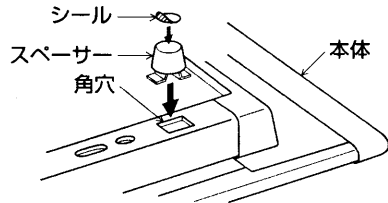


フル引掛
ローゼット

2 直付け取付けをする場合

※埋込ローゼット以外に取付ける時は付属のスペー
ーを使用してください。

付属のスペーサーにシールを貼り付け、本体角穴に差
し込んで取付ける。



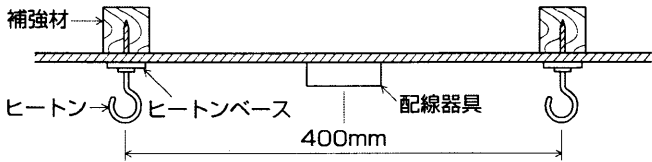
3 吊下げ取付けをする場合

※コンクリート天井には取付けできません。

①ヒートンの間隔は配線器具を中心に400mmにし
てください。

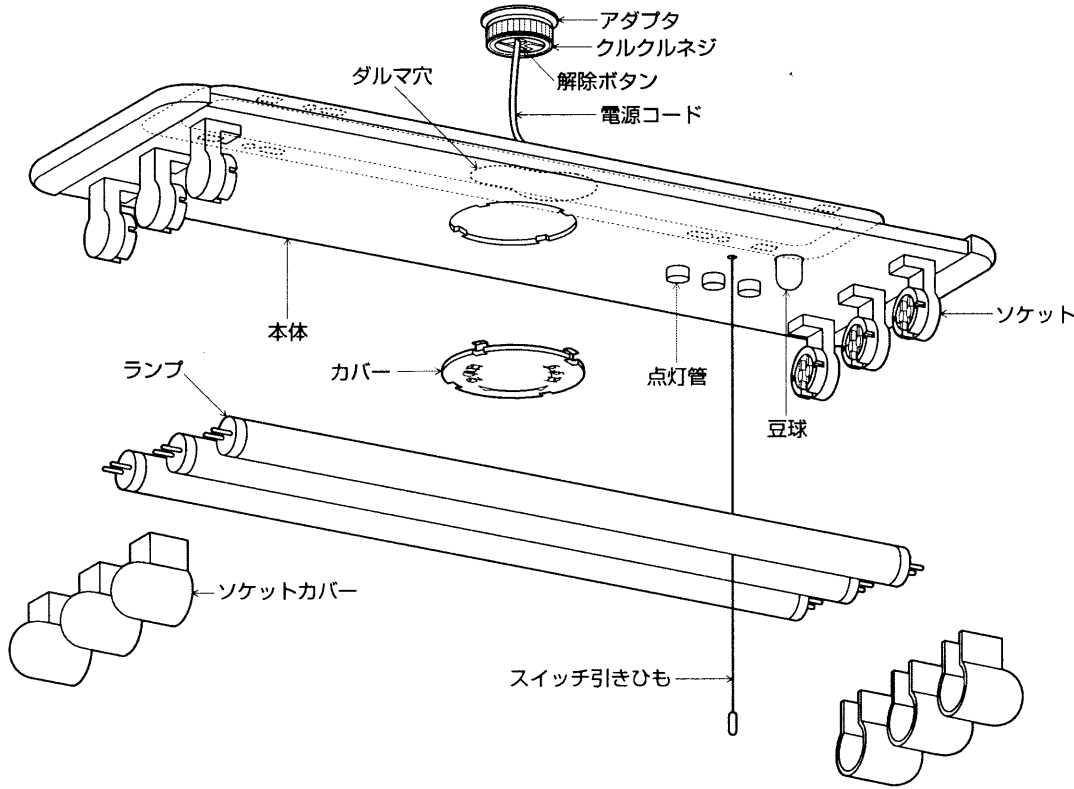
②ヒートンとヒートンベースは天井内に補強材のあ
る位置に取付けてください。

△警告 ベニヤ板などの強度の弱い箇所には取付けない。
落下によるけがの原因になります。



■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

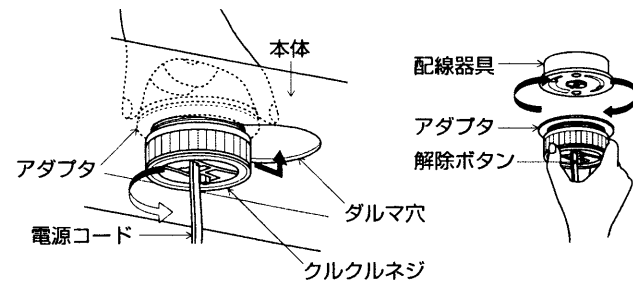
	チェーン・・・・・・・・４本
	ヒートン・・・・・・・・２個
	ヒートンベース・・・・２枚
	スペーサー・・・・・・・・４個
	シール・・・・・・・・４枚

<直付け取付けの場合>

1 アダプタを接続する

器具の裏側からアダプタを押えながらクルクルネジをゆるめてアダプタを本体のダルマ穴から外し、器具の裏側より電源コードを引き出す。本体を支えながら、アダプタを配線器具に接続する。

※取外すときは解除ボタンを押した状態で左に回す。



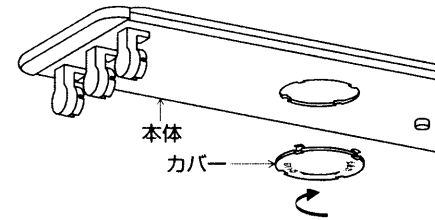
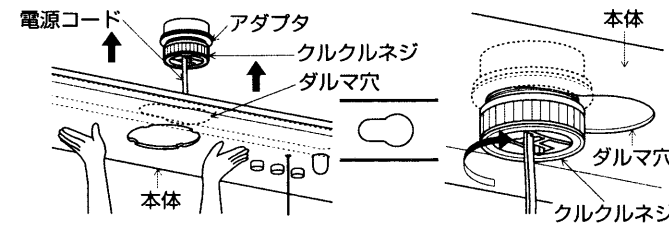
2 本体を取付ける

本体を電源コードに沿って持ち上げ、アダプタのクルクルネジ部を中央の大きなダルマ穴から引き出す。中央方向にスライドして仮止めする。

クルクルネジがカチカチと空回りするまで締め付ける。

※工具などで締め付けないでください。
破損の原因になります。

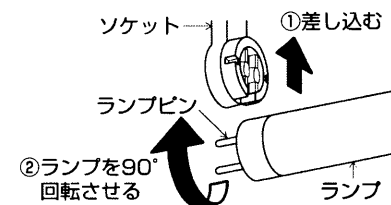
カバーを本体に取付ける。



3 ランプを取付ける

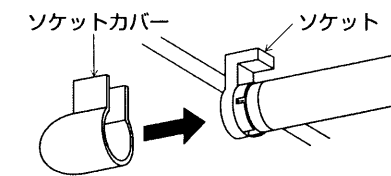
ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



4 ソケットカバーを取付ける

ソケットカバーをソケットに合わせて取付ける。

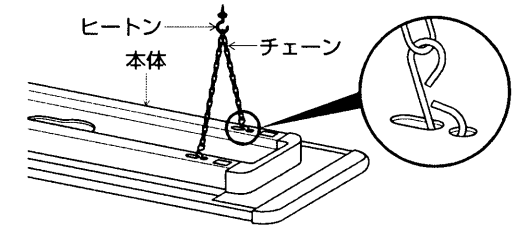


5 点灯の確認を行なう

<吊下げ取付けの場合>

1 チェーンを取付ける

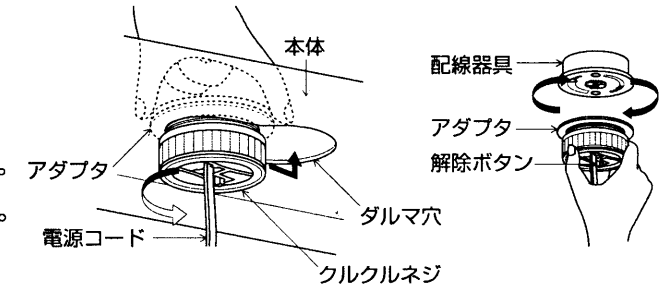
チェーンを本体にペンチなどで取付ける。
チェーンをヒートンに引っ掛ける。



2 アダプタを接続する

器具の裏側からアダプタを押えながらクルクルネジをゆるめてアダプタを本体のダルマ穴から外し、器具の裏側より電源コードを引き出す。本体を支えながら、アダプタを配線器具に接続する。

※取外すときは解除ボタンを押した状態で左に回す。

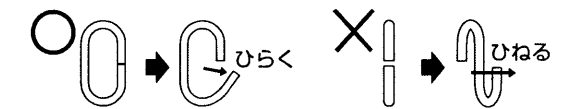


3 チェーンの長さを調節する

図のようにチェーンを開き、チェーンのコマ数を調節する。広げたチェーンは確実に閉じる。

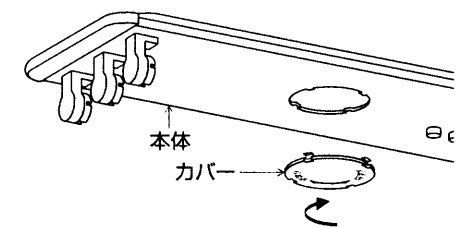
△警告 一度開いたチェーンは再度開かないでください。
再度開いた場合、破損・落下によるけがの原因になります。

△警告 電源コードで器具を吊らないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



4 カバーを取付ける

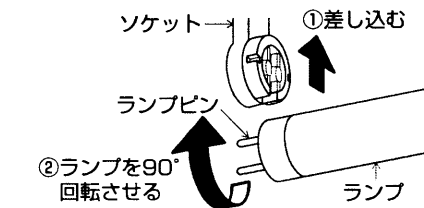
カバーを本体に取付ける。



5 ランプを取付ける

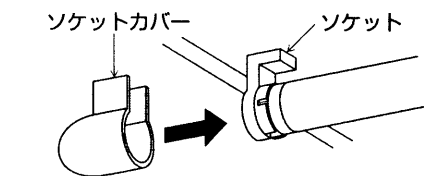
ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



6 ソケットカバーを取付ける

ソケットカバーをソケットに合わせて取付ける。

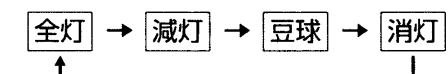


7 点灯の確認を行なう

■点灯順序

●スイッチ引きひもを引っ張ると、明るさが切り替わります。

※壁スイッチのある場合、あらかじめ壁スイッチをONにし、スイッチ引きひもを操作してください。



■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合は購買店にお申し出ください。
- 多灯用器具は間引き点灯しないでください。過大電流により安定器の短寿命の原因になります。